

7つの柱	項目	国の目標(根拠)	市の目標	実績(令和2年度末)
①	認知症サポーターの養成	1,200万人 (高齢者人口3人に1人)	24万人	227,026人
②	初期集中支援チームの設置	H30年度より全市町村	全区に設置	H26年度より1区でモデル実施 H27年度より3区に設置 H28年度より全区に設置
	認知症地域支援推進員の設置	H30年度より全市町村	全区に設置	H28年度より全区に設置
	認知症疾患医療センター	500カ所 (2次医療圏域に少なくとも 1センター以上設置)	H21年度に 地域型3カ所 設置	H29年度に連携型3カ所設置 (計6カ所)
	認知症サポート医養成研修	1万人 (一般診療所10カ所に対して1人のサポート 医を配置)	340人	195人
	かかりつけ医認知症対応力向上研修	7.5万人 (高齢者人口約470人に対して1人)	1,500人	1,693人
	病院勤務の医療従事者向け認知症対応力 向上研修	22万人 (1病棟につき受講者10名以上)	8,120人	3,412人
	歯科医師認知症対応力向上研修	2.2万人 (歯科診療所の歯科医師のうち4人に1人 以上が受講)	650人	273人
	薬剤師認知症対応力 向上研修	4万人 (薬局の薬剤師のうち4人に1人以上が受 講)	1,000人	724人
	看護職員認知症対応力向上研修	2.2万人 (半数の看護師長が受講)	480人	351人
	認知症介護実践者研修	30万人 (これまでの認知症介護実践リーダー研修及び認 知症介護実践者研修の受講者の動向割合から 算出)	6,250人	5,653人
	認知症介護実践リーダー研修	5万人 (これまでの認知症介護指導者研修及び認知 症介護実践リーダー研修の受講者数の動向割 合から算出)	600人	471人
	認知症介護指導者養成研修	2,800人 (これまでの受講者数の動向から算出)	53人	50人
認知症介護基礎研修	認知症介護に携わる すべての職員の受講	認知症介護に携わるす べての職員の受講	989人	
③	若年性認知症に関する事業の実施都道府県	コーディネーターの資質向上 好事例の横展開の推進	若年性認知症について好 事例の横展開の推進	・各区地域支援推進員の 研修・連絡会の実施 ・若年性セミナー(府市共催)
④	認知症カフェ等の設置	全市町村	各カフェにおける好事例を 伝える 各カフェの詳細把握	137カ所のうち 20カ所の詳細把握 (他は休止等)

(参考) 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン) 7つの柱

- ① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- ② 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
- ③ 若年性認知症施策の強化
- ④ 認知症の人の介護者への支援
- ⑤ 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
- ⑥ 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進
- ⑦ 認知症の人やその家族の視点の重視